

# 保健師職能委員会だより

令和8年2月発行

日頃より県看護協会保健師職能委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年は、「2025年問題」の節目となる年であり、まさに超高齢社会の課題を実感する通過点となりました。2040年に向けて人口構造や社会環境が変化し、健康課題の多様化や健康格差の拡大が予測されます。このような中、日本看護協会は看護の進む新たな方向性を看護職及び国民に明示した「看護の将来ビジョン」を公表しました。

また、厚生労働省では「2040年を見据えた保健師活動指針の見直しの検討会」が開催され、平成25年に定められた保健師活動指針の見直しが進められ、保健活動のあり方について幅広く議論が行われています。今こそ改正指針の動向を注視し、保健師の未来を見据えた効果的な人材育成とそれを支える体制の強化が図られることを期待しています。

当委員会では、多様な課題に取り組み、よりよい公衆衛生看護活動を展開するために、職域を超えた保健師同士のつながりや看護職間の連携を強化するため、様々な研修会等を開催いたしました。今年度の委員会活動について報告します。

## 保健師研修会（9月27日 参集開催）参加者23名

### テーマ「次世代につなごう いわての保健師活動」

#### 第1部 講演「ケアのためのエネルギーチャージ セルフ・コンパッション」

講師：武蔵野大学 ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科 教授 秋山美紀氏

#### 第2部 保健師活動実践報告「大船渡市の母子保健～こどもまんなかのまちを目指して～」

報告者：大船渡市 保健福祉部こども家庭センター 所長補佐 佐藤由美子氏

#### <第1部>

看護職はより質の高い看護を行うため、看護職自身が健康で楽しくなければならぬ、ウェルビーイングの向上についてお話いただきました。職場の幸せの基盤となるものはP（Purpose：目的）E（Engagement：やりがい）R（Resilience：困難を乗り越える力）K（Kindness：親切心）であること、思いやりにはエンパシーとコンパッションがあり、職場にコンパッションを目覚めさせるためには、気づく・理解する・感じる・行動することが必要なこと、自分の気持ちに寄り添い、成長を願うことがセルフ・コンパッションである等、職場や私生活においても即実践できる内容でした。

#### <第2部>

先駆的取組（こども家庭センター、5歳児健診）や災害時（林野火災）保健活動等についてお話いただき、地域に寄り添った活動を知ることができました。保健師同士がつながる貴重な機会となりました。



秋山美紀氏



佐藤由美子氏

健康講座「こころの健康を保つためには」

岩手県精神保健福祉センター

主査保健師兼精神保健福祉相談員 高橋 愛氏（保健師職能委員）

「まちの保健室」が主催する一般住民を対象とした健康講座において、「こころの健康」をテーマに、自殺死亡率が高い岩手県の状況を踏まえて、普段の生活の中でメンタルヘルスの保持増進を図るために、自分でできるセルフケアを中心に話しました。

ストレスとはどういうものか理解を深めると共に、活用できるセルフケアの具体例を紹介し、参加者からは「わかりやすく参考になった」「役立てたい」等の感想をいただきました。研修を通して、参加者の皆さんが普段から実施しているセルフケアを再認識していただき、これまで実践してきたセルフケアは意識して取り入れていただくこと、また、新たに自分に合った方法を探していくことを共有することで、住民の皆さんのこころの健康増進に寄与する機会となりました。



自治体保健師の魅力発信のためのイベント（12月20日開催）

保健師の人材確保が課題となる中、自治体への就職に関心を持つ看護学生に向けて、保健師の活動や魅力を伝えることを目的に開催しました。参加自治体は大船渡市、一関市、岩泉町、田野畑村の4自治体、看護学生27名が参加しました。前半は、紫波町役場の引木浩大さんに「自治体保健師になろう！」をテーマに、保健師を目指したきっかけや仕事のやりがいについてご講演いただきました。続いて、岩手県保健福祉部の湊香奈子さんより「保健師への道」として、保健所業務や採用試験等についてご紹介いただきました。後半は、学生が各自治体のブースを訪問し、地域の特色や保健活動について直接話を聞く形式で行いました。ご当地キャラクターや観光PRも交え、和やかで活気ある交流が行われました。

学生からは「就職先に悩んでいたが具体的な話が聞いて参考になった」「インターンシップにも参加してみたい」などの声が寄せられ、保健師という職業の魅力が伝わる有意義な機会となりました。



自治体保健師が業務内容ややりがいを紹介



学生と直接対話し、和やかな交流の中、地域の特色をPR!(^\_^)!



看護協会入会をお待ちしています！

看護協会では、「保健師の人材確保」や「保健師のキャリア形成支援」などの事業を展開しています。保健所をはじめ市町村、企業等の産業分野、福祉分野で保健師として働く中で、「スキルアップしたい」「他の分野の保健師とつながりたい」「もっとこんな保健師活動がしたい」という思いを抱えていませんか？

看護職間の連携がすすめられる中、職域を超えた保健師同士の交流はもちろん、看護師・助産師とのネットワークも広がります。入会をお待ちしています。

岩手県看護協会会員数 7,360人（保健師 275人）  
（令和8年2月15日現在）

◆・◆令和7年度保健師職能委員の紹介◆・◆

- ◎担当理事 森川一枝（岩手県看護協会副会長）
- ◎委員長 浅沼圭美（所属：障害者支援施設新生園）
- ◎副委員長 小川陽子（所属：紫波町役場）
- ◎委員 芳賀美佳（所属：宮古市役所）
- ◎委員 赤井純子（所属：岩手医科大学看護学部）
- ◎委員 小柳美幸（所属：盛岡市役所）
- ◎委員 高橋 愛（所属：岩手県精神保健福祉センター）